



平成28年10月8日(土)、9日(日)開催
育樹の輪 ひろげる森と 木の文化

全国育樹祭 森の京都



「天上の木『10選』」Web投票開始について

平成28年7月14日
京都府企画理事付
075-414-4382
京都府農林水産部
モデルフォレスト・全国育樹祭推進課
075-414-5005

京都府では、府中部地域の豊かな森を活かした地域づくりとして、本年、平成28年をターゲットイヤーとして「森の京都」事業を推進しています。

森と関わる中で、豊かな生活・文化を伝えてきた「森の京都」エリア(※1)において、単なる木にはない魅力を持ち、勇気や癒し、感動を与えてくれる「天上の木」を募集したところ、162件の応募をいただきました。

この度、162件の応募の中から、応募者のエピソードや木の希少性などの観点から選定した36件と、選考委員会からの推薦木4件(合計40件)について、Web投票を行い、「天上の木『10選』」を決定しますので、周知についてよろしくお願ひします。

なお、10選の木については、森の京都博ホームページや全国育樹祭の参加者に配布する「森林の文化マップ」において掲載予定です。

※1) 亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北

【「天上の木10選」選定Web投票】

- 1 投票期間 平成28年7月15日(金)～平成28年8月5日(金)
- 2 投票方法 天上の木(40件)の写真と応募者のコメントから、お気に入り5件を京都府ホームページから投票
<http://www.pref.kyoto.jp/modelforest/selection.html>
- 3 結果発表 平成28年8月27日(土)開催の「森の京都博キッズサマーイベント」内で発表(会場:福知山市 三段池公園 総合体育館)

【天上の木】

- 1 応募件数 162件(募集期間:平成28年1月4日(月)～6月15日(水))
- 2 Web投票対象 40件(応募木:36件、選考委員推薦木:4件)

市町村別	件数	選定木
亀岡市	5	イチョウ、イヌマキ、エノキ、スギ、モミジ
南丹市	10	ケヤキ(2)、トチ(2) カツラ、スギ、ハクモクレン、ヒノキ、ムクノキ、モミ
京丹波町	6	イチョウ、ケヤキ・フジ、タムシバ、七色の木、フジキ、モミジ
福知山市	5	イチョウ(2)、「鬼」に見える木、スギ、フジ
綾部市	5	トチ(2)、エノキ、ブナ、ヤマザクラ
京都市 右京区京北	9	サクラ(4)、スギ(2)、サカキ、ツクバネガシ、ヒバ

※表示:同一樹種数順→五十音順

- 3 選定方法 有識者から意見聴取の上、「天上の木」選考委員会を実施して選定

お問い合わせ先	企画理事付	参事 仲間	075-414-4372
	モデルフォレスト・全国育樹祭推進課	課長 清水	075-414-5004



<p>亀岡市</p>	<p>①丹波国分寺のイチヨウ</p>	<p>亀岡市</p>	<p>②丹波国分寺のイヌマキ</p>
		<p>コメント</p> <p>この木を触ると力がみなぎってきます。 新しいカメラを買ったとき、車を買ったとき見せに行きます。 ひとりになりたいとき、考えがまとまらないとき、木を撫でるとこたえがでてきます。 <u>こころの支えになる木です。</u></p>	
<p>亀岡市</p>		<p>③南郷町のエノキ</p>	
		<p>コメント</p> <p>亀岡市内でも有数の古木と思われ、<u>旧亀山城の生立ちを見続けてきた「天上木」に値すると思われ</u>ます。</p>	
<p>亀岡市</p>		<p>④東本梅 大内神社のスギ</p>	
		<p>コメント</p> <p>源頼政ゆかりの神藏寺。 <u>数百年間丹波でその紅葉を魅せてくれる一本の巨大紅葉。</u> 春は桜のお寺として知る人ぞ知る桜の名所でもある。</p>	
<p>コメント</p> <p>○数百年前からある歴史を感じさせる大杉。時代劇の舞台となったりして、自然に風景に溶け込んでいる。 <u>巨大杉だけにパワーを感じさせる気を感じる。</u></p> <p>○亀岡の半国山に登山に行った帰りに立ち寄りしました。田園風景が広がる静かな場所に神社が立っており、小さな神社の中でこの木がひときわ目立っていました。</p>			

南丹市	①美山町 大原神社のケヤキ	南丹市	②八木町のケヤキ
	<p>コメント</p> <p>大原神社(伊邪那美命)の参道(一の鳥居跡)に、まるで大空に向かって手を広げ、大声で雄叫びをあげているかのようなご神木です。 力を頂きました。</p>		<p>コメント</p> <p>「大きな岩をだく黒住さんの大ケヤキ」～肝っ玉母さん大ケヤキ～ ①八木町大堰橋上流約100m右岸にある大ケヤキです。 ②大堰川河川敷より10m以上高い護岸に根を張り、大きな岩をしっかりと抱えています。 ③幹周りは約5m、高さは20m以上で樹齢は500年以上とされています。 ④八木町は、昭和28年及び34年に大きな水害にあい甚大な被害を受けている。その時に大堰川上流から流れてきたと思われる大きな岩をしっかりと受け止め、地域住民の命と財産を守ったのではと推測される。 ⑤地域住民にとっての命の恩人であり、町のシンボルとなっています。 ⑥被害からの町の復興を、今日も高い所から見守っています。 ⑦お母さんのようなそんなおおらかで温かい気持ちを感じさせられる大ケヤキです。</p>
南丹市	③美山町 北村稻荷神社のトチ	選考委員会推薦木 南丹市	④美山町 芦生の森のトチ
	<p>コメント</p> <p>北村稻荷神社の榎の木で樹齢400年と言われています。南丹市の指定文化財に平成7年4月1日選定されました。榎の木は深い山の中に自生しているのが多くみられますが、里におけるこの榎の巨木は珍しいと言えます。今でも実を着けます(現役バリバリです)。 「かやぶきの里」の名木であり、観光客に人気があります。老木でもあるため枝折れをはじめ樹勢の衰えが目立ってきたので、市の補助金をいただきながら樹勢回復工事を、かやぶきの里保存会と中野苗(講組織)が共同で27年度に実施しました。かやぶきの里で凜とした姿を末永くみせてくれることでしょうか。</p>		<p>選考委員会推薦文</p> <p>芦生の森のトチ。 「芦生の森」は南丹市美山町の北東にある手つかずの天然林で植物や動物、昆虫などの生態が豊富で、大都市に近い低山地としては非常にめずらしい森林が「芦生の森」です。 この芦生の森には、西日本屈指の広大な原生林が残されていますが、その中でもこのトチは独特のオーラがあります。どっしりとした幹、見上げるとつべんが見えないくらい樹高など、見る者を引きつける魅力たっぷりのトチノキです。 見ていると心が落ち着き、自然の雄大さを感じさせられます。</p>
南丹市	⑤美山町 神谷集落のカツラ		
	<p>コメント</p> <p>桂の木の巨木というのは見掛ける事が少なく、この木は幹分かれしていて、いくつもの幹が束になってそびえているというものです。 樹齢などは解りませんが、集落では神木の様に大切にされています。 若い地域おこし協力隊のメンバーを連れて行きましたが、感嘆の声をあげていました。</p>		

⑥園部町 朝倉神社のスギ



選考委員会推薦文

朝倉神社の大杉。京都府指定天然記念物。これまで何度も落雷の被害に遭っていて幹が真っ二つに割れている姿が印象的だが、被害に遭ってもなお力強く生きる姿に勇気をもらえる。

南丹市 ⑦八木町 加城寺のハクモクレン



コメント

源義仲・巴御前の菩提を弔うために建立した加城寺の参道にある白木連。
桜に先立ち三月下旬から真白な花を幹周り2.65m、高さ15mの大木いっぱい咲かせ、山懐から室橋の里を見守っている。
東には田園が広がり、遠く離れた里からも一目で分かる春本番を告げる見事な白木連の大木である。

南丹市 ⑧園部町 天狗岩のヒノキ



コメント

子どもの頃から、天狗岩には天狗の神様が住んでいると信じていました。そして、大きくなったらいつかあの山へ登ってみたいと思うようになりました。その願いがようやく叶ったのは、50歳を過ぎてからでした。最近、山を訪れる人がほとんどなく、あちこちで倒木が道を閉ざしていました。観光協会の人たちと、整備作業をしながらようやく登ることができました。苦労して登った天狗岩からの展望は素晴らしく、遠くに山並みや集落が見えました。そして、天狗岩の岩の間に立派な檜が生えていることが付きました。嵐雨に耐え、岩の隙間にしっかりと根を張り成長を続けている檜の生命力に目を見張りました。天狗岩と檜はまるで寄り添うように一体化していました。その姿を見て「やっぱり天狗の神様はいるのかもしれない。」と思えました。天狗岩は檜の命を守りながら、山の麓の大河内の住民を守り続けているような気がしてきました。

南丹市 ⑨園部町 八幡神社のムクノキ



コメント

この神社の境内には、ケヤキやカヤなどの巨木が何本もあるが、郡を抜いて大きいのがムクノキである。
この木は全国のムクノキでも5指に入り、近づくとその雄大さに圧倒される。

南丹市 ⑩美山町 林昌寺のモミ



コメント

曹洞宗 林昌寺境内の大モミの木。
大きな三つの枝が、夫々に自己主張しながら空に向かっていく様が、自由であれ！と云って
くれています。

京丹波町	①大簾川 立木橋のイチヨウ	京丹波町	②坂原阿上三所神社のケヤキ・フジ
	<p>コメント</p> <p>大イチヨウの木 橋の下から生えていながら、橋の上からも見上げる天を突くような大きな木です。秋になると黄葉の美しさもさることながら、鈴なりにできる銀杏はものすごいです。</p> <p>一昨年までは、広野区の老人会の活動として道の駅で銀杏の販売をしていたようです。広野区が自慢できる木だと思えます。</p>		<p>コメント</p> <p>○1347年(観応元年)創建の神社の境内樹齢700年のケヤキの大木と100年の藤かずらが見事に共生しています。雷や火災で3度焼け、中心部は空洞になっている。村人や氏子の祭り、祈願、お祝い、出征など喜怒哀楽の歴史を物語っている。</p> <p>○落雷により内部は空洞になり焼き焦げているが横に伸びる枝には葉が青々と繁り木の生命力を感じます。見るものは力をもらう。</p>
京丹波町	③仏主のタムシバ	京丹波町	④仏主の七色の木
	<p>コメント</p> <p>今年の春はタムシバ(モクレン科)の当たり年のようで、森の京都エリアでもあちらこちらで山は「白」で映えました。</p> <p>最も美しく映えたものが、この写真です。</p> <p>木立の隙間から見えたとき、雲か、雪かとおもいました。</p>		<p>コメント</p> <p>○多くの命と共存して森にたたずむ雄大な姿に感動</p> <p>○桂の木に杉、けやき、もみじ、かや、楓、藤の木が宿る。</p> <p>心が癒やされる木で、四季を通じで楽しんでいきます。</p>
京丹波町	⑤琴滝のフジキ	京丹波町	⑥酒治志神社のモミジ
	<p>コメント</p> <p>滝を見に行つて下るときに御神木が目につきました。看板に『御珍木』と書いてあったのでよく見るとビックリしました。</p> <p>ですが、フジキの形がなんだか神秘的で女性が天に向って手を伸ばしている感じもしてパワーを受け取る感じもしました。</p>		<p>コメント</p> <p>治志神社境内にそびえ立つもみじの木は芯が無く、樹皮部分だけで生き延び、毎年春にはもえぎ色の葉をつけ、秋には見事な紅葉に染まるのを見るにつけ、木の生命力にはいつも感動を受ける。</p> <p>酒治志神社は弘仁4年(813年)正月の宣旨が発見されたことから式内式の神社として比定されていると文献にあることから、丹波地域でも古い神社といえ、また近くには山内氏の居城であった三ノ宮城もあったことから古より当地域の重要な場所であったと思われる。</p>

福知山市	①戸田 浦嶋神社のイチヨウ	福知山市	②夜久野町 大歳神社のイチヨウ	
		<p>コメント</p> <p>浦嶋伝説が残る浦嶋神社の境内に立つ、銀杏の木。 浦嶋神社は、私の小学生時代、夏休みの度に開催される地区別ソフトボール大会のための練習場所になっていた。 境内でノックや試合形式の練習をしていた。(時が経つとともに狭く感じる境内。今では参道が舗装され当時とは変わってしまったが。)7歳大きい先輩が小学生の頃、当時から大きかった銀杏の木を越してホームランを打ったことが言い伝えられていた。 <u>6年生になったら、僕も銀杏の木を超すんだと頑張ったが、ついに超えられなかった。(7年も経てば木も大きくなるしと思いながら...)一度、芯や枝も落とされたが、この木を見上げれば、いつも当時の頃が思い出される。若かった頃の自分がそこにいる。</u></p>		<p>コメント</p> <p>府道526号線沿いにある巨木。 京都の自然200選にも選ばれている「いちよう」隣接するゲートボール場の老人たちを見守っている。</p>
福知山市	③大江町の「鬼に見える」木	福知山市	④大江町 元伊勢内宮皇大神社のスギ	
			<p>コメント</p> <p><u>○神秘的な力強さに畏怖と有り難みを感じました。</u> やはり御神木は纏う気も桁が違います。 ○樹齢2000年と言われている木で、<u>それだけ経過してもまだ立っている姿から元気をもらえます。</u></p>	
コメント	<p><u>大江山を代表する鬼や、トロに見える形から見守られているような気持ちになり元気がもらえる。</u></p>			
選考委員会推薦木 福知山市	⑤大江町 オノ神のフジ			
		<p>選考委員会推薦文</p> <p>一辺約8メートル四方の棚にからまる大小6株のフジ。四方に枝をのばして5月の開花の時期にはたわわな花房を垂れ、数多くの人々によって薄紫色の見事な花姿が愛でられています。「オノ神のフジ」と呼び親しまれているフジは、古くから信仰・観光の対象にもなっていて、府の天然記念物の指定を受けています。</p>		

綾部市	①睦寄町 君尾山のトチ	綾部市	②睦寄町 水源の里・古屋のトチ
			
<p>コメント</p> <p>すっかり有名になった君尾山の大トチです。 近所なので何回となく見学に行っています。 年々老朽化し、また空洞も出来「老兵は死なず消え去るのみ」？ いい機会です、モデルフォレストで再度スポットを当ててください。</p>		<p>コメント</p> <p>水源の里・古屋では山中に栃の大木が多数あり、秋には栃の実がなります。 <u>田畑の少ない古屋では栃が貴重な食料として活用され、トチの木は切らずに大切にされてきたので樹齢の大きい大木が残っています。</u> 今では栃餅や栃あられは古屋の有名な特産品になりました。</p>	
綾部市	③睦寄町 綾部電波工業敷地内のエノキ	綾部市	④睦寄町 古屋のブナ
			
<p>コメント</p> <p>写真の木はエノ木といいます。 昔この場所に病院があったそうで、その隣には祠があります。冬になるとこの木に雪のきれいな花を咲かせてくれとても美しいです。しかし、ツルが巻いているため枯れないかと少し心配しています。</p>		<p>コメント</p> <p>洞峠の東北東(海山町との境界尾根)、標高約730mの地点にあり直径約1m、周囲に大きく枝分かれた貫禄ある枝振り、周囲が伐採・植林されているなか、<u>森の主ともいふべき威厳を放っています。</u></p>	
綾部市	⑤小畑町と大江町の間にあるヤマザクラ		
		<p>コメント</p> <p>綾部市小畑町と大江町との境にある尾根は、地元小畑町のかたがたが里山散策のコースとして歩けるよう整備されました。 その尾根にあるヤマザクラの大木で、尾根の強風を受けたのか斜めになりながらも太い幹でそびえ立ち、春には尾根に白い花吹雪を散らせています。 <u>尾根道整備をした地元のかたがたが大切にしているヤマザクラの大木です。</u></p>	

京都市京北	①京北宮町のサクラ	京都市京北	②上弓削町 八幡神社のサクラ
	<p align="center">コメント</p> <p>○10～12枚の八重の中に一重が混じる珍種。「京の楼守」佐野藤右衛門氏が苗づくりに成功し、この品種を「黒田百年」と命名。樹齢は300年以上とみられ、もともとは明治初期に開設された黒田村役場の前の広場にいずれかから移植されたものと考えられる。京都市域では最後の花見を楽しめる桜として毎年多くの見物客が訪れ、「黒田百年桜まつり」が催されるなど、地域のシンボルとなっている。</p> <p>○子供の頃から見ている美しい桜です。満開になると毎年家族で花見を楽しんでいます。何代にもわたり家族をつなぐ思い出にもなっています。近くを通るたびに楽しい思い出が浮かんできて、思わずほほえんでしまいます。我が家の天上の木です。</p>		<p align="center">コメント</p> <p>シダレザクラ「出逢い桜」おおらかに枝花を広げる大樹。桜の下に集う人々の縁を結ぶことからそう呼ばれている。</p> <p>市内で最大級とされるシダレザクラの大樹。地元では「<u>出逢い桜</u>」の愛称で親しまれている。</p> <p>八幡神社参道にそびえるシダレザクラの大樹。この樹元での数々の「<u>出逢い</u>」のエピソードが生まれた。</p>
京都市京北	③周山町 魚ヶ淵のサクラ	選考委員会推薦木 京都市京北	④井戸町 常照皇寺のサクラ
	<p align="center">コメント</p> <p>周山・魚ヶ淵の吊り橋のたもとで咲き乱れる枝垂れ桜。京北の自然を象徴する上桂川に架かる吊り橋とのコントラストが美しい。</p> <p>周山の中心から車で50分のところにある吊り橋のたもとにある枝垂れ桜。近くで見ると迫力あるこの桜は非常に吊り橋とマッチしていると思います。来年はここでお弁当を食べながらじっくり桜を鑑賞したいです。</p>		<p align="center">選考委員会推薦文</p> <p>常照皇寺の九重桜は国の天然記念物に指定されています。根元の周囲4.4m、地上から1.5mの高さで周囲3.6m、樹高10mに近い巨木ですが、とても古い木で今にも倒れそうな幹や枝をたくさんの支え棒で支えている姿は痛々しくも一生懸命生き抜く強さを感じさせられ、勇気づけられます。花の咲く時期4月中旬頃で、見頃の時期には多くの人々が来訪されます。</p>
京都市京北	⑤京北第三小学校のスギ		
	<p align="center">コメント</p> <p>○樹齢450年以上、胸高周囲630センチ以上、樹高32.5メートル。第三小学校が建てられる時、神社の境内・参道が未来の子供たちの学びの場とするため供されたときく。以来、<u>地域を見守り続けている木であることは感慨深い。</u></p> <p>○上中八幡宮参道の大杉京北第三小学校校庭にそびえたつ大杉。樹齢450年、胸高周囲6.3m、樹高33m。豆削のシンボルである。</p> <p>○森の京都の山里、明るく開けた田んぼに、スクッと外連味ない立ち姿はまだ若樹ながら田の守り神と見え、若いエネルギーに満ちています。</p>		

京都市京北	⑥下黒田町のスギ	京都市京北	⑦細野町 長野大神宮のサカキ	
		<p data-bbox="596 259 715 293">コメント</p> <p data-bbox="528 322 783 539">○伏状合杉は「北山合杉」の原型であり、上桂川源流域で古くから林業活動が行われていたことの生き証人でもある。裏日本型の杉の代表的な系統で下枝が枯れず、深い積雪に耐える強靱な粘りを持ち、雪で押されて接地したところから根が出て1本の木として独立する。圧倒的な存在感を持つ。</p> <p data-bbox="528 555 783 813">○数ある伏条合杉群の中で、「平安杉」と名付けられている古木です。当時僕が監視員のアルバイトをしている時に、この木の周りでかなりのスピードで飛び回る白い小さな妖精を見ました。それ以降、よく都会の友達をこの場所に連れて行きますが、抱きついたり一緒に写真を撮ったりとみんな笑顔になって帰ってきます。中には涙する友達もいましたよ。</p>	 <p data-bbox="1305 259 1423 293">コメント</p> <p data-bbox="1241 322 1497 633">長野大神宮社本殿の大サカキ。胸高周囲1.5m、樹高20mのサカキの大木が対をなしてそびえる。</p>	
京都市京北	⑧田貫町 白山神社のツクバネガシ	京都市京北	⑨上黒田町 春日神社のヒバ	
		<p data-bbox="596 902 715 936">コメント</p> <p data-bbox="528 965 783 1030">白山神社のツクバネガシ</p> <p data-bbox="528 1037 783 1417">府天然記念物。ツクバネガシとしては日本屈指の巨木で樹齢350年、樹高37m、胸高周囲8.4mに達する。古墳の上に植えられており、この木は他にも10本以上が群生している。</p>	 <p data-bbox="1305 902 1423 936">コメント</p> <p data-bbox="1241 965 1497 1429">樹種:ヒバ(アスナロ) 延宝6年(1678年)に植栽され、樹齢330年を超えており、京北町内では最も太い大木である。ヒバは水に強いので漆器の木地として使われている。京北では錆丸太生産が行われ、お茶室などの床柱などに使われている。胸高周囲318cm、樹高25.5m。</p>	